

平成26年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、平成26年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、現場の視察、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評 価 の 視 点	評 価	評 価 コ メ ン ト
評 価 項 目	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	良い	<p>最近の生徒の動向において入学者より転（編）入生が多数となる傾向にあるなか、生徒ひとりひとりの個性と希望を生かした教育課程の編成や、生徒のニーズに即した普通特進科を編成し、生徒の学業と自立支援に努めている。</p> <p>さらに、ひとりひとりを理解した教科指導は、生徒自身が学習意欲を高め、自ら個性を発見し、それを伸ばしており、本校を卒業した多くの生徒が大学や専門学校に進むなど、社会へ大きくはばたく力の源となっている。</p> <p>また、情報処理の学習評定によると、生徒のコンピューターへの意欲と関心は大きく、技術力と理解力も高いため、実社会での活用が期待できる。</p> <p>特別支援教育では、施設のバリアフリー面で課題があるが、個別の指導計画の策定や各医療・福祉機関との連携があり、生徒への丁寧な支援が見られる。</p>
	生徒の状況	生徒の人格的発達の状況 生徒指導等の状況 安全管理の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況	良い	<p>学校要覧、学校評価及び定期的に発行している「相学News」において、生徒の学習への意欲や理解度、そして満足度を把握することができるとともに、新聞誌上においても生徒の部活動の活躍や地域社会との交流の文化活動の記事が見られ、在學生はもとより卒業生の活躍の場を知ることができる。</p> <p>生徒の健康管理については、通信制・単位制高等学校のために難しい状</p>

			<p>況にはあるが、運動部生徒への健康診断の必須化やスポーツ振興センターへの加入呼び掛け、生徒の出身学校への度重なる訪問や教育相談等で心身ともに豊かな生徒づくりに励んでいる。</p> <p>また、スクーリングでは、生徒の学習参加態度が、きわめて真面目、意欲的で明るい表情のもとに懸命に取り組む姿をみることができた。</p>
学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	良い	<p>年次ごとの学校要覧が整理され、広域通信制・単位制高等学校である相生学院高等学校の全体像を理解することができる。</p> <p>組織運営については、教職員を定数より多く配置し、教職員の相互連携のもとに教育目標達成に向けて、教育課程を工夫し努力してきている。さらに、今日の生徒のニーズに応えたコースの設置に努め、経営の安定化を図ってきている。</p> <p>教職員の研修についても、株式会社立高校であるために校外研修への参加機会が閉ざされているが、兵庫県高等学校教育研修会等へ積極的に参加し、教職員の力量アップに努めている。</p> <p>設置者との関係については、教具の適切な整備や学校が課題とする事項の共通理解が図れているなど連携した取り組みが行われている。</p>
学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況	良い	<p>近隣地区の中学校や高等学校等への訪問を繰り返し行い、学校経営の方針を説明し、意見交換を行うことで相互理解に努めている。特に入学生徒の出身学校に出向き、その生徒への内面理解を図って指導に生かしていると感じる。</p> <p>また、学校案内や「相学N e w s」、ホームページなどの充実により学校情報が積極的に発信され、学校づくりへの意欲が明確となって、学校への期待度は大きくなってきている。なかでも「相学N e w s」では、行事計画や生徒の活動が読みやすくて的確に報道されており、学校運営の実態と生徒への自立（自律）支援の豊かさを把握することができ、楽しく読むことができる。</p>

			さらに、絵本「ベンチくん、どうしたの？」の発行をはじめ、在学生や卒業生が中心となり各地域社会で数々のイベントを企画・実施し、地域住民の相生学院生への理解と信頼が高まっている。
学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	良い	<p>テニス部を中心に運動部の活躍があり、その活躍が新聞等のマスコミで報道され、相生学院高等学校の知名度が上がるとともに、相生市もこの恩恵を受けている。</p> <p>また、総合的な学習等の展開により、地域社会や地域住民との関わりが密なるものとなり、生徒や学校との信頼関係が高まってきている。</p> <p>卒業生についても680人を数え、近畿地方の大学・専門学校への進学や兵庫県内での地元企業への採用が進み、地域の活性化や地元への貢献度が高くなってきている。</p>
市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	おおむね満足	学校評価等の資料やスクーリング中の学校訪問で、学校経営の方向性を把握し、相生市教育特区学校設置審議会において、学校経営に関する事柄について検討する等、相互の理解を図ってきている。

総括・課題	<p>平成27年度で学校創立7年となり、相生市教育特区学校設置審議会での指導事項が年次ごとに解決され、学校経営の意欲と確実さ、そしてその方向性が明確になってきている。</p> <p>今回、学校設置審議会に提出された学校評価に関する資料等により、学校の全体像を明確に把握するとともに、学校づくりへの意欲と熱意を読み取ることができた。</p>
-------	---

評価項目については、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」、「注意」の基準で評価しています。